



第130号

慈光

社会福祉法人遠州佛教積善会
救護施設 慈照園
静岡県浜松市中央区鴨江3-4-3
TEL 053-452-3069
FAX 053-452-3074
URL <http://jishoen.jp>

地域共生社会における救護施設の役割

社会福祉法人 遠州佛教積善会
園長 左右田 雅子

日頃より、社会福祉法人遠州佛教積善会および救護施設慈照園の運営につきまして、ご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

令和6年度は、救護施設における個別支援計画の制度化や通所事業対象者の地域枠拡大、地域移行加算創設など、救護施設が行政や地域と今まで以上に連携をし、ご利用者の個別のニーズに対応していくよう制度改正がありました。当園としては、退園者ではない地域住民の方の通所受入や、居宅訓練から通所事業やグループホーム利用へ3名の地域移行に取り組み、地域移行加算の申請をいたしました。

令和7年度は、国は新たに病院や矯正施設などの関係機関と入所調整を行う者を配置した救護施設に受入機能体制加算を創設しました。当園においても、以前より地域体験交流会を開催するなど病院や矯正施設からの入所受け入れを行ってきましたが、追加の職員配置まで至っておらず、まずは定期的な情報交換から取り組んでまいります。

ご利用者が就労や地域移行などの自立への希望や目標に向かって生き生きと輝けるよう、福祉事務所と援助方針の共有等連絡を密にし、地域の皆様との交流をしながら毎日の支援に努めます。今後ともご指導ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

福祉サービス第三者評価を受審しました

結果は、「静岡県公式ホームページ 令和6年度福祉サービス第三者評価公表」ページに公表されておりますので、ご覧ください。

(<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shakaifukushi/1002960/1002962/1067441.html>)
自己評価及び第三者評価の結果、事業計画・重要事項説明書の記載事項見直しや設備面のプライバシー保護への取り組みを実施し、サービス改善に役立てました。

通所事業(デイサービス)

慈照園では地域移行した方が通所してくるデイサービスや訪問サービス、また必要に応じて給食サービスや入浴サービスも行っています。



月に1回の日中活動、昼食作りなど年間を通して生活の質の向上に取り組んでいます。



通所しながら外勤に出る方もいます。

慈照園の作業の取り組み

園内作業

慈照園では現在3社の企業さんから内職を頂き、月曜日～金曜日の午前・午後、土曜の午前と基本的に全員参加で作業を行っています。



バリ取り



チューブ組み立て



クリップ仕分け



封緘作業



作業金はAランクからDランクまであり、毎月内職金として支給されます。またボーナスやお弁当・ケーキなどの提供での還元もあります。



年2回、G高校さんからの封緘作業があります。

環境整備

毎日作業頑張ってます



就労の練習として、食堂清掃・トイレ清掃・カート清掃と行ってもらっています。

外勤

現在3名の方が外勤を行っています。

草取り・清掃

老人ホームの清掃

野菜の収穫・トレーの洗浄



1月

お楽しみ会
新年会

皆の笑顔がたくさん見れました。
今年もいい年になりますように。



3月

話し方大会
ひな祭り
ランチコース
防災給食訓練

「ひなまつり」では毎年女性陣で写真撮影を行っています。



話し方大会では利用者さんのいろいろな話が聞けます。



慈照園

行事の思い出

2月

節分会
シティマラソン
涅槃会

全員完走することができました！



4月

ペタボード大会
花まつり
ピアノ演奏慰問

園内のスポーツ大会やゲーム大会は毎回とても盛り上がります。



花まつりでは愛恵こどもの園の園児たちが象を引いてくれました。



5月

クリーン作戦
浜松まつり
ランチウォーキング

クリーン作戦では地域の掃除をしています。



みんな大好きランチ外出です。



6月

園内カラオケ大会
バイキング
地域体験交流会
春ゼミナール

グリンピア牧之原と清水港ふなべんクルーズにいきました。



こだま

「農業と福祉」

京丸園株式会社 鈴木 厚志 様

私達の農園では、農業と福祉を融合させたユニバーサル農業に挑戦しています。現在最高齢者89歳、最年少者16歳の老若男女100名が農場で活躍しています。

私が中学2年生の時、隣のクラスは特別支援学級でした。壁の向こう側からいつも騒がしい声や物音が聞こえていました。クラブ活動の選択で私は、園芸クラブを選択しました。集合場所を見るとなんとその場はとなりのクラス。園芸を教える先生が、特別支援学級の担任だったのです。

クラブ活動は、彼らに合わせたメニューで学校菜園・花壇の手入れを行います。いま思うと、ここが私の原点でした。教室で座っている時には落ち着かない彼らが、畑や花壇で土や植物と触れている時とても穏やかな顔つきとなり作業もとても丁寧だったことを思い出します。その時、先生が「彼らと農業の相性がとてもいいんだよな～」と、いつも言っていました。

農業をユニバーサルデザインにして多様な人達が活躍できる場が広がることを願っています。

ありがとう

寄付金:

中村建設株式会社従業員ご一同様

寄付金: 丹羽啓祐 様

畠: 鴨江北町 畠揚げ会 様

お花: 名倉竜一 様

こたつ: 杉山等 様

ピアノコンサート: 五十嵐恵子 様

交流: 愛恵こどもの園

『観音様の日』

1月 瑞生寺住職・左右田泰丈 師

2月 随縁寺住職・鶴見勝円 師

3月 永禪寺住職・増田浩介 師

4.5.6月 瑞生寺住職・左右田泰丈 師

お世話になります「ボランティア」

茶道・生け花クラブ 斎藤 直美 様

ハンドマッサージ 住吉 苗子 様

ヨガクラブ 山内亜紀子 様

絵手紙クラブ 鈴木八重子 様

音楽クラブ 木村 裕子 様

アニマルセラピー (N)日本アニマルセラピー協会 浜松本部

苦情解決システム実施状況（苦情相談内容）

R. 6.12.13～R7.6.11

	所属	相談内容	対応	結果
1	投書 利用者	新館2F男子トイレを女性トイレに変更したらどうか。	対象となる女性利用者に希望調査実施。だれも使用したいという方はなく、変更はしなかった。	解決
2	投書 利用者	新館身障者トイレで歯磨き、髭剃りをしている人がいる。長時間使えなくなるので止めてもらいたい。	張り紙「このトイレで歯磨き、髭剃りは止めましょう。次に使いたい人が待っています。」を貼った。その後、歯磨き、髭剃りをする方は無くなった。	解決
3	口頭 利用者	お薬の配布について。職員によって、医務室前で配ったり、食堂で配ったりバラバラ。配る時間も違う。これがコロナ対応なのか？利用者は混乱している。	職員会議で対応を検討した。感染者対応で配役場所や時間が変わった場合はホワイトボードでお知らせすることになった。	解決
4	投書 利用者	担当職員Gさんはケチです。「靴下を買ってください」と言ったら「裸足でいてください」と言われました。	申し出人、担当G、苦情解決担当者と三者面接。担当Gは「裸足でいてください」と言ったことはなく「靴下は押入れをよく探してください」と伝えたと。申し出人は虚偽であることを認め、担当Gに謝罪した。	解決
5	投書 利用者	1職員に「とち狂っている」と言われた。その言葉は傷つきました。	申し出人、1職員、苦情担当者、苦情責任者で4者面接。1職員は「とち狂っている」と言った覚えはない。覚えがない事を謝ることはできない、と。第三者委員に面接を依頼。信頼できる職員に事実を報告し対処してもらう事、健康のために考えすぎないよう助言をもらった。	未解決
6	口頭 利用者	K職員に胸ぐらをつかまれ、階段の端に引っ張られた。私の後ろからも人が来ていて、自分が邪魔になっていたかもしれないが、やり方がひどい。	申し出人、K職員、苦情担当者、苦情責任者で4者面接。K職員は「胸ぐらはつかんでいない、服の橋を引っ張っただけ」と反論。苦情担当者より、誤解を招く行動は控えましょうとK職員に伝えた。その後、第三者委員に面接を依頼。信頼できる職員に事実を報告し対処してもらう事、健康のために考えすぎないよう助言をもらった。	未解決
7	投書 利用者	L利用者が、周りに喧嘩を売ってくる。大声を出して威嚇してくる。同じ場所で生活していく事に限界を感じる。	作業空間を分けたり、居室フロアを分けたりして対応しているが、解決には至っていない。	未解決
8	口頭 利用者	隣席の利用者が接触してくるので、食堂の座席を替えてほしい。	座席を変更した。	解決
9	口頭 利用者	事務所でB職員がC職員に包丁を向けて話しているのを見た。ふざけているようだが度が過ぎる、見ていて怖い。	B職員に聴取したところ、偶然包丁を持っている時にC職員に話しかけられたとの事。刃物の取り扱いを慎重にするようB職員に注意した。	解決
10	口頭 利用者	D職員は作業時間や昼食支援時、私語が多い。	第三者委員に面接を依頼、内容について詳しく聞いてもらった。後日、D職員、苦情担当者、苦情責任者と三者面接し、私語を慎むよう注意した。	経過観察中